

ヨット競技選手の特性 (1)

—競技意欲について—

柳 敏晴*, 谷 健二*

A STUDY ON THE CHARACTERISTICS OF YACHT RACERS

Toshiharu YANAGI* and Kenji TANI*

Abstract

A yacht racer is required to possess three important characteristics : maneuvering skills ; in-depth knowledge about weather ; and crucial decision making. Moreover, yacht racers ought to be competitive and mentally tough. It is necessary to scrutinize their psychological characteristics in order to develop their mental toughness. However, very little empirical study has been conducted to investigate the characteristics of yachtsmen in the field of sport studies. Thus, the purpose of this study was to determine competitive motivation of yacht racers.

A survey study was conducted. A self-administered written questionnaire was distributed to the yacht racers. A total of 109 racers (83 males & 26 females) voluntarily participated in this study. The subjects consisted of high school students, college students and corporate employees. The Taikyo Sport Motivation Inventory (TSMI) was employed to ascertain competitive motivation of the subjects. Data obtained from the questionnaires were analyzed descriptively.

Within the limitations of this study, the findings indicated the following conclusions;

- 1) The level of competitive motivation among the yacht racers appeared to be moderate. The data showed that the females had low tendency in "achieving success" and high tendency in "avoiding failure." Thus, they seemed to be more dependent on coaches than their male counterparts.
- 2) On the basis of age, no correlation was found in the level of competitive motivation among the subjects. The yachtsman showed high tendency in "mental toughness" and "reliance on coaches."
- 3) A negative correlation was found between the number of participations and the level of failure avoidance. In other words, veteran yachtsmen appear to have enough confidence in themselves when they participate in races.
- 4) The yachtsmen seemed to live rather intemperately so that they need to shape up their lifestyles if they seek a higher level of competition.

KEY WORDS : *TSMI, YACHT RACERS, COMPETITIVE MOTIVATION*

*鹿屋体育大学 National Institute of Fitness and Sports in Kanoya

序 論

ヨットレースは、自然の力を最大限に利用し、道具であるヨットの性能を最高に引き出し、さらに競争相手の心理状況を読んで戦う、非常にメンタルで知的な競技である¹⁾。

オリンピックにおけるヨット競技の記録をみると、デンマークが国としては9個の金メダルを取っているが、そのうち4個の金メダルを獲得しているポール・エルヴストロームは、1948年に初めて参加し、1988年に60歳でトルネード級に出場し、これが8度目で最後のオリンピックであった²⁾。

これから見てもヨット競技が他種目と大きく異なり、体力だけでなく、精神力、経験他総合的な能力が必要な種目だということが解る。

近年のヨットレースで勝利を手中に収めるためには、総合的なトレーニングが要求されるようになってきているが、日本国内で行われる大会は、安全面の重視からか1-2 m/sの微風下でのレースが多く、強風下でのレースは高校生等の大会で実施された例は稀である。しかし、世界選手権やオリンピックなどでは、強風下でのレースは日常茶飯事である。帆走技術はもちろんのこと、精神力・体力の面で日本選手は外国選手に劣る感がある。

また、ヨットに限ったことではないが、日本のジュニア・スポーツの抱える大きな問題点として「勝利至上主義」の指導がある³⁾。そのため当然、指導方法は基礎体力・技術・精神力を高めることよりも、相手に勝つための効率のよい技術・方法を身につけさせることに重きが置かれている現状である。これは、「勝利至上主義」が及ぼす弊害の1つであると考えるが、日本ジュニア、いや日本のヨット界全体が抱える問題として、メンタルトレーニングや体力トレーニングの軽視がある。確かにヨットレースは、他の陸上競技や球技のようなスポーツに比べると、体力的な面より技術、あるいはメンタルな部分が大きなウエイトを占めるスポーツといえるかも知れない。腕立て伏せを10回やらせるよりも、戦術を1つ教えたり、チュー

ニングを工夫する方が、当面の成績はよくなるだろう。ましてや無風に近い状況でのレースが多い日本では、メンタルトレーニング・体力トレーニングなど意味がないと考える指導者が少なくない。

しかし、十分な筋力がなければ、強風時のシートトリムに妥協が生じるし、十分な精神力・持久力がなければ、軽風下でのレースと言えども集中力が鈍り、適切な判断を下すことができなくなる。これらの基礎体力・技術・精神力は、ジュニアからのトレーニングの有無により、将来に大きく影響を及ぼすと考えられる。

これらのことを考えると、今後のヨット競技選手には「体力」、「帆走技術」、「精神力」、「知識(気象・海象・環境・力学など)」の4つの総合的なトレーニングが要求されてきている。

ヨット競技選手の特性を調べたデータは多くなく、わずかに日本体育協会スポーツ科学研究報告集(1989 No27ヨット:TSMI検査からみた競技選手の競技意欲)のものの他数えるほどしかない。

目 的

平成4年12月に高校生、大学生、社会人のヨット競技選手について心理面・体力面について調査を行ったが、今回、TSMI(Taikyo Sport Motivation Inventory 以下TSMIと略)調査を用い、ヨット競技選手の競技意欲を明らかにし、メンタルトレーニング指導における基礎資料を得ることを目的とする。

方 法

(1) 調査対象

調査対象は、第1回九州地区大学ヨット合同練習会兼ジュニア合同練習会に参加した九州地域を中心とした西日本地域の3大学(A大学:宮崎県・B大学:鹿児島県・C大学:鹿児島県)、9高校(D高校:福岡県・E高校:長崎県・F高校:宮崎県・G高校:宮崎県・H高校:鹿児島県・I高校:鳥取県・J高校:香川県・K高校:香川県・L高校:香川県)、4団体(Mヨット連盟:香川県・Nクラブ:佐賀県・Oヨット連盟:鹿児

鳥県・Pクラブ: 鹿児島県), その他的高校生・大学生・社会人に実施した。(表1)

その結果, 男子83名, 女子26名, 合計109名から回答を得た。最終回収率は, 男子98.8%, 女子81.3%であった。(表2)

表1 調査対象者の属性

要因群	項目	人数	%
1 性別	男	83	76.1
	女	26	23.9
2 年代	高校生	78	71.6
	大学生	26	23.8
	社会人	5	4.6
3 経験年数	1 - 2 年	79	72.5
	3 - 4 年	22	20.1
	5 - 9 年	4	3.7
	10 年以上	4	3.7
4 出場最高大会	国際大会	9	8.3
	全国大会	39	35.8
	地域大会	13	11.9
	都道府県大会	17	15.6
	都道府県内地区大会	7	6.4
	大会未経験	24	22.0

表2 TSMI 調査・調査票回収状況

性別	参加者	回答者	回収率
男子	84	83	98.8%
女子	32	26	81.3%
合計	116	109	94.0%

(2) 調査日

1992年12月26日に実施した。

(3) 調査方法

調査は, 質問紙法を用いた。合同練習時の夜間全体ミーティングの後の時間帯を利用し, 調査の趣旨を説明の上, 調査用紙を配布し, 記入後その場で回収した。

(4) 調査内容

日本体育協会が作成した「TSMI (競技に対する達成動機調査)」を用いた。本調査は, 「達成動

機理論」(競技達成動機)と「失敗回避傾向」(競技不安)という2つの要因の合成されたものとして仮定され, 146の質問項目から構成されている。これらの146項目は, 「目標への挑戦」, 「技術向上意欲」, 「困難の克服」, 「練習意欲」, 「情緒安定性」, 「精神的強靱さ」, 「闘志」, 「競技価値観」, 「計画性」, 「努力への因果帰属」, 「知的興味」, 「勝利志向性」, 「コーチ受容」, 「IAC (コーチとの人間関係)」, 「失敗不安」, 「緊張性不安」, 「不節制」の17尺度に分類されている。なお, 各質問項目の回答肢は「よくあてはまる」から「まったくあてはまらない」の4段階評定尺度である。

(5) 分析方法

TSMI 評価の標準化されたスタナイン得点を用いて, 性別・年代・経験年数・出場最高大会別に単純集計し, 性別 (男・女), 年代 (高校生, 大学生, 社会人), 経験年数 (1 - 2 年, 3 - 4 年, 5 - 9 年, 10 年以上), 出場最高大会 (国際大会, 全国大会, 地域大会, 都道府県大会, 都道府県地区大会)等を要因変数とし, 記述統計・要因分析し, 比較を行った。

なお, 各尺度の段階点は1 - 9段階となっており, 4 - 6段階は各尺度特性の中間 (平均レベル)にあることを示している。また, 「目標への挑戦」から「コーチ受容」までは, 段階点が高いほど傾向が高いことを示し, 「IAC」から「不節制」までは, 段階点が高いほど悪い傾向を示している。

本調査のデータ分析は, NEC PC9801VX を利用し, データ解析は, 統計プログラム SL-MICRO を用いた。

結果及び考察

1) 調査対象者の属性

調査対象者の属性について, 表2とグラフ1 - 5にその結果をまとめた。性別については, 「男子」が76.1%, 「女子」が23.9%と7割以上を「男子」が占めている。年代別については, 「高校生」が71.6%と7割以上を占め, 「社会人」は1割弱である。経験年数については, 「1 - 2 年」が72.5%で最も多く, 次いで「3 - 4 年」の20.1%である。

「10年以上」は、3.7%である。出場最高大会については、「全国大会」が35.8%と最も多く、「都道府県大会」が15.6%、「地域大会(ブロック大会)」が11.9%の順で、「国際大会」出場者も8.3%いる。しかし、「大会未経験」の者も22.0%と約2割を占めている。

このように、調査対象者の全体の7割以上が男子となっており、女子選手が少ない。また、年代については、高校生が占める割合が多く、経験4年以下の選手が9割以上を占めるなど、経験の浅い選手がほとんどである。出場最高大会については、ヨット競技は種目の特殊性からヨット競技を課外活動として行っている高校が各県2、3校と少なく、全国高校総体(インターハイ)の予選会などは、県レベルではなく、地域(ブロック)レベルで行われるため、地域大会以上の規模の大きな大会の経験者が5割以上を占めている。

2) 競技意欲

(1) 全体・性別の特性

「全体および性別」についての、TSMI 検査のプロフィールを示したものが図1～図2-2である。図中の段階点は、回答者のスタナイン得点評

価段階点を比較対象別に整理し、平均値を四捨五入し、求めたものである。

「全体」(図1)のプロフィールについては、17の尺度とも段階点が4-6のなかにあり、各尺度の特性は、中間レベルである。

「性別」(図2-1・2)のプロフィールについては、「男子」は、ほとんどの段階点が「5」で各尺度の特性は、中間レベルである。一方、「女子」も全尺度において中間レベルである。

「男子」に比べて「女子」は、「困難の克服」「情緒安定性」「精神的強靱さ」「闘志」「計画性」「知的興味」「勝利志向性」「IAC」の傾向が低くなっている。また、逆に「コーチ受容」の傾向は高く、「失敗不安」「緊張性不安」の傾向は低く、「不節制」である傾向がみられた。

このように、「性別」においては、男女とも各尺度の特性は、中間レベルにあるものの、「女子」は「男子」に比べて「成功達成傾向(競技達成動機)」が若干低い傾向にあるもの、「失敗回避傾向(競技不安)」が若干高い傾向がある。

これらは、女子選手において「競技不安」が大きいと、大きいと、「コーチ受容」が高い傾向になっているといえよう。

表3 TSMI 検査のプロフィールの平均値(全体及び性別)

区 分	全 体		性 別			
	N=109		男 子 N=83		女 子 N=26	
	MEAN	SD	MEAN	SD	MEAN	SD
①. 目標への挑戦	4.87	1.81	4.82	1.81	5.04	1.82
②. 技術向上意欲	4.85	2.05	4.92	1.98	4.65	2.28
③. 困難の克服	4.42	1.87	4.46	1.78	4.31	2.15
④. 練習意欲	5.45	2.01	5.45	2.08	5.46	1.79
⑤. 情緒安定性	4.99	1.93	5.24	2.02	4.19	1.36
⑥. 精神的強靱さ	5.15	2.17	5.47	2.16	4.12	1.90
⑦. 闘 志	4.67	2.31	4.76	2.28	4.39	2.42
⑧. 競技価値観	5.14	1.64	5.11	1.71	5.23	1.42
⑨. 計 画 性	4.63	1.98	4.87	1.94	3.89	1.97
⑩. 努力への因果帰属	4.04	1.83	3.80	1.81	4.81	1.72
⑪. 知的興味	4.62	2.09	4.70	1.99	4.35	2.42
⑫. 勝利志向性	4.51	2.21	4.64	2.16	4.08	2.33
⑬. コーチ受容	5.16	2.25	4.86	2.25	6.12	2.01
⑭. I A C	5.02	1.90	5.28	1.96	4.19	1.42
⑮. 失敗不安	5.21	2.23	4.95	2.27	6.04	1.91
⑯. 緊張性不安	5.51	1.97	5.33	2.07	6.08	1.52
⑰. 不 節 制	5.77	1.91	5.99	1.83	5.08	2.04

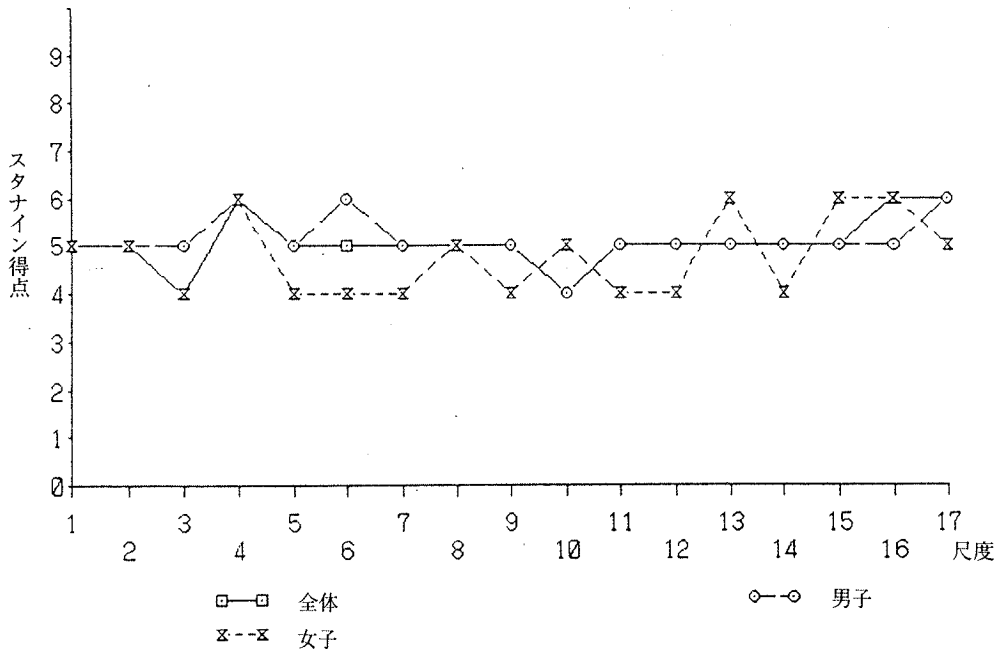


図1. TSMI 調査の尺度別プロフィール (全体及び性別)

(2) 年代別特性

「年代別」(図3-1~3)については、「高校生」は、全尺度において中間レベルである。「大学生」においても、全尺度において中間レベルである。また、「社会人」においては、全体的に中間レベルであるものの「精神的強靱さ」「コーチ受容」の傾向は高く、逆に「困難の克服」の傾向は低くなっている。また、「IAC」「緊張性不安」などは良い傾向を示している。

「高校生」に比べて「大学生」は、「努力への因果帰属」「知的興味」「勝利志向性」は高くなっているものの、「困難の克服」「闘志」が低くなっている。また、「IAC」は悪くなっている。

また、「高校生」に比べて「社会人」は、「情緒安定性」「精神的強靱さ」「努力への因果帰属」「知的興味」「勝利志向性」「コーチ受容」は高くなっているものの、「目標への挑戦」「技術向上意欲」「困難の克服」「練習意欲」は低くなっている。「IAC」「失敗不安」「緊張性不安」は悪くなっている。

このように、「年代別」においては、全体的に

各尺度の特性は中間レベルにあるものの、「大学生」は、「高校生」に比べて「成功達成傾向(競技達成動機)」、「失敗回避傾向(競技不安)」についてほとんど変化がない。これは、大学に入学してからヨットを経験する者が多く経験の長さについては、高校生とほとんど変わらない点からきているものと考えられる。また、「社会人」は、「高校生」に比べて「成功達成傾向(競技達成動機)」は若干低くなる傾向があるものの「失敗回避傾向(競技不安)」においては大変低くなっている。これらは、高校、大学、社会人になるにつれ、「成功達成傾向(競技達成動機)」は、目標を達成したり、成長する間に競技意欲が薄れたりして低くなるからといえよう。また、練習経験、大会経験、人間の外面的成長、内面的成長から、「失敗回避傾向(競技不安)」が低くなってきているといえる。

また、「社会人」において「コーチ受容」が高い傾向もでており、ヨット選手においては、「社会人」においてもコーチとの信頼関係に強い結びつきが必要であることや社会人となってもヨット競技の特性からコーチが必要であると考えられる。

表4 TSMI 検査によるプロフィールの平均値 (年代別)

区 分	年 代					
	高校生 N=78		大学生 N=26		社会人 N=5	
	MEAN	SD	MEAN	SD	MEAN	SD
①. 目標への挑戦	4.99	1.63	4.65	2.21	4.20	2.28
②. 技術向上意欲	4.78	1.91	5.15	2.32	4.40	2.79
③. 困難の克服	4.56	1.76	4.27	2.11	3.00	1.87
④. 練習意欲	5.54	1.93	5.46	2.25	4.00	1.58
⑤. 情緒安定性	4.81	1.78	5.31	2.24	6.20	2.28
⑥. 精神的強靱さ	5.19	2.18	4.73	2.11	6.60	1.95
⑦. 闘志	4.72	2.32	4.39	2.37	5.40	1.95
⑧. 競技価値観	5.23	1.61	4.89	1.58	5.00	2.55
⑨. 計画性	4.51	1.88	5.00	2.37	4.60	1.52
⑩. 努力への因果帰属	3.86	1.76	4.46	2.04	4.60	1.52
⑪. 知的興味	4.37	2.06	5.15	2.07	5.60	2.30
⑫. 勝利志向性	4.44	2.13	4.69	2.36	4.60	2.97
⑬. コーチ受容	5.23	2.09	4.65	2.62	6.60	2.30
⑭. I A C	4.96	1.70	5.62	2.21	2.80	1.48
⑮. 失敗不安	5.41	2.09	4.92	2.59	3.60	1.95
⑯. 緊張性不安	5.65	1.84	5.54	2.10	3.00	2.00
⑰. 不節制	5.67	1.76	6.12	2.12	5.60	3.13

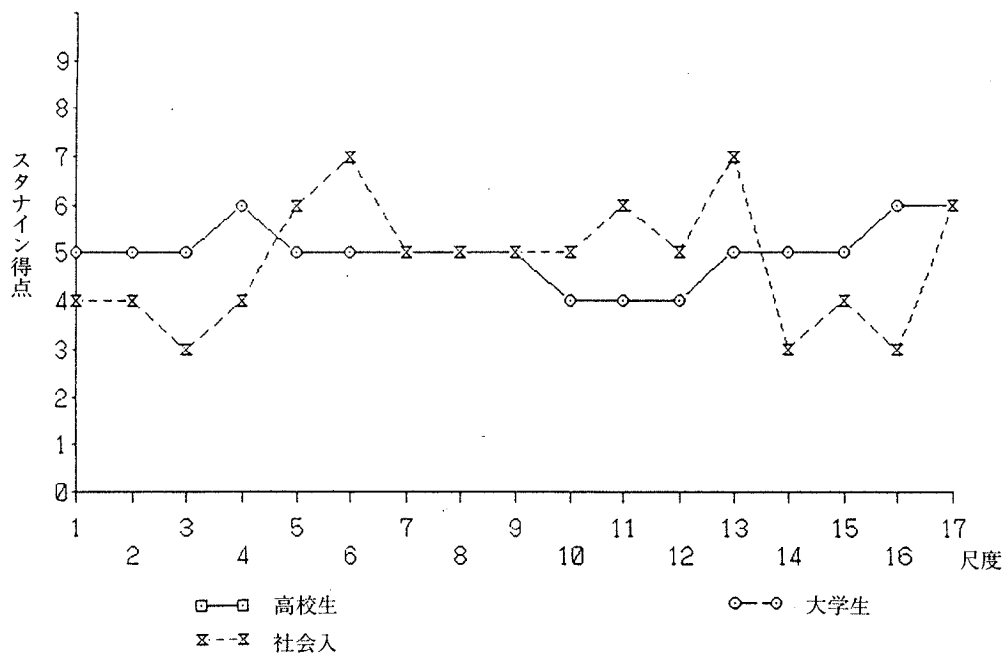


図2 TSMI 調査の尺度別プロフィール (年代別)

(3) 経験年数別の特性

「経験年数別」(図4-1~4)については、「経験1-2年」の選手については、全尺度にお

いて中間レベルにある。また、「経験3-4年」の選手についても全尺度において中間レベルにある。しかし、「経験5-9年」の選手については、全体的に中間レベルにあるものの、「競技意欲」

「情緒安定性」「計画性」については、低い傾向を示し、「緊張性不安」においても悪い傾向を示している。そして、「10年以上」の選手も全体的に中間レベルにあるものの、「情緒安定性」について、特に高い傾向を示している。また、「困難の克服」は低い傾向を示し、「IAC」も悪い傾向を示している。

「経験1-2年」に比べて「経験3-4年」の選手は、「競技価値観」が高くなっているものの「困難の克服」「勝利志向性」「コーチ受容」は低くなっている。また、「失敗不安」「緊張性不安」は良くなっている。「経験1-2年」に比べて「経験5-9年」の選手は、「技術向上意欲」「練習意欲」「情緒安定性」「計画性」「コーチ受容」は高くなっているものの、「困難の克服」だけが低くなっている。また、「IAC」「緊張性不安」は悪くなっている。「経験1-2年」に比べて「10年以上」の選手は、「情緒安定性」「闘志」「努力への因果帰属」「コーチ受容」が高くなっているものの「目標へ

の挑戦」「技術向上意欲」「困難の克服」「練習意欲」「勝利志向性」が低くなっている。また、「IAC」「失敗不安」「緊張性不安」が大変良くなっている。

このように、「経験年数別」においては、経験年数が長くなっても全体的に特性の傾向は中間的なレベルを保っている。その中で「成功達成傾向（競技達成動機）」は若干低くなってきているものの、「失敗回避傾向（競技不安）」の傾向を見ると「IAC」「失敗不安」「緊張性不安」が低くなってきていることは、競技経験が長くなるにつれ、「試合度胸が座り、コーチとの人間関係が良好に行え、不安が少なくなっていると考えられる。

また、前項の「年代別」と同様に、経験年数が長くなるにつれ「コーチ受容」が高い傾向もであり、ヨット選手においては、経験年数が長くなるにつれ、コーチとの信頼関係に強い結びつきや経験数が長くなっても今回の調査からはコーチが必要であるといえる。

表5 TSMI 検査によるプロフィールの平均値（経験年数別）

区 分	1-2年 N=79		3-4年 N=22		5-9年 N=4		10年以上 N=4	
	MEAN	SD	MEAN	SD	MEAN	SD	MEAN	SD
①. 目標への挑戦	4.90	1.73	4.96	1.73	4.75	1.26	4.00	2.58
②. 技術向上意欲	4.87	2.11	4.82	1.76	5.75	1.50	3.75	2.75
③. 困難の克服	4.62	1.89	4.18	1.68	3.75	1.71	2.50	1.73
④. 練習意欲	5.43	2.03	5.40	1.97	7.25	1.26	4.25	1.71
⑤. 情緒安定性	4.86	1.78	4.91	2.27	6.50	1.73	6.50	2.52
⑥. 精神的強靱さ	5.15	2.27	4.77	1.97	5.25	0.96	5.25	2.22
⑦. 闘志	4.61	2.36	4.68	2.38	6.25	1.50	6.00	1.63
⑧. 競技価値観	5.00	1.56	5.64	1.59	5.25	2.22	5.00	2.94
⑨. 計画性	4.54	2.06	4.59	1.68	6.75	1.71	4.50	1.73
⑩. 努力への因果帰属	3.77	1.84	4.96	1.73	3.75	0.50	4.50	1.73
⑪. 知的興味	4.51	2.18	4.91	1.86	4.75	0.89	5.00	2.16
⑫. 勝利志向性	4.60	2.26	4.09	2.02	5.25	0.96	4.25	3.30
⑬. コーチ受容	5.38	2.16	4.00	2.33	6.00	1.63	6.25	2.50
⑭. I A C	5.00	1.82	5.23	2.16	6.00	1.63	3.25	1.26
⑮. 失敗不安	5.49	2.17	4.27	2.16	6.25	2.50	3.75	2.22
⑯. 緊張性不安	5.64	1.98	5.18	1.82	6.50	1.73	3.50	1.92
⑰. 不 節 制	5.71	1.73	5.96	2.21	6.00	2.45	5.75	3.40

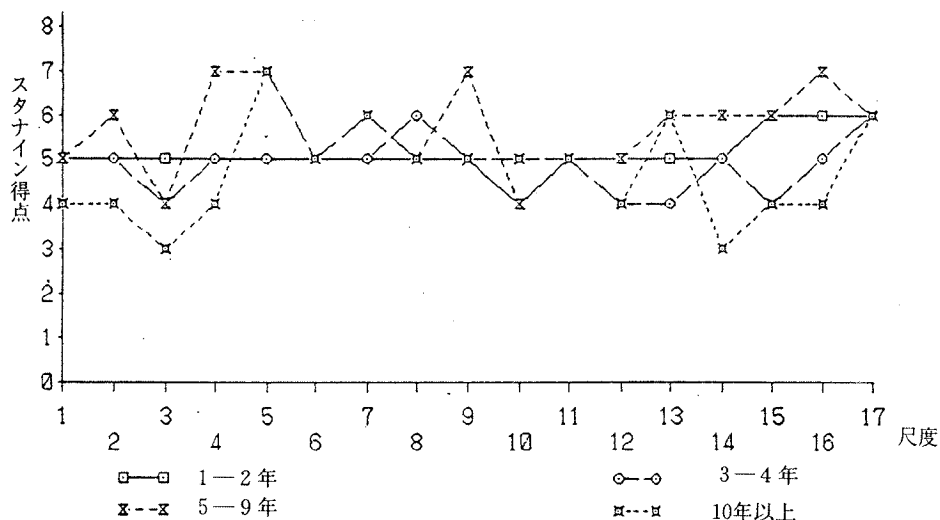


図3 TSMI 調査の尺度別プロフィール (経験年数別)

(4) 出場最高大会別の特性

「出場最高大会別」(図5-1~5)については、「国際大会」が最高大会の選手は、全体的に中間レベルにあるものの、「困難の克服」が非常に高い傾向であり、「精神的強靱さ」は低い傾向である。「全国大会」が最高大会の選手は、全尺度において中間レベルである。「地域大会」が最高大会の選手は、全体的に中間レベルの中で低いレベルである。また、「不節制」においては特に悪い傾向を示している。「都道府県大会」が最高大会の選

手は、全尺度において中間レベルである。「都道府県内地区大会」が最高大会の選手は、全尺度において中間レベルである。

このように、「出場最高大会別」においては、全体的な特性の傾向は中間レベルである。若干、「国際大会」に出場した選手において「困難の克服」が高い傾向がみられた。これらは、競技レベルの高い大会に出場することで目標は高くなるが、くじけず克服しようと頑張っていき、その後の自信となっているからだといえる。

表6 TSMI 検査によるプロフィールの平均値 (出場最高大会別)

区 分	国際大会 N=9		全国大会 N=39		地域大会 N=13		都道府県大会 N=17		地区大会 N=7	
	MEAN	SD	MEAN	SD	MEAN	SD	MEAN	SD	MEAN	SD
① 目標への挑戦	4.67	2.00	5.36	1.65	3.77	2.56	5.12	1.58	6.00	0.82
② 技術向上意欲	5.00	2.45	4.97	1.84	4.46	2.76	4.88	1.65	5.57	1.81
③ 困難の克服	3.44	1.81	4.72	1.92	3.46	1.94	5.00	1.37	4.86	1.07
④ 練習意欲	4.89	2.03	6.05	1.97	4.39	2.22	5.88	1.73	5.43	1.27
⑤ 情緒安定性	6.22	1.92	5.10	2.06	5.31	2.06	4.71	1.11	5.00	1.53
⑥ 精神的強靱さ	6.56	2.07	5.54	2.30	4.46	2.03	4.77	1.72	5.29	1.80
⑦ 闘志	5.33	1.94	5.13	2.41	4.08	2.75	4.41	2.15	5.14	2.12
⑧ 競技価値観	5.00	2.18	5.39	1.60	4.46	1.81	5.35	1.50	5.14	1.46
⑨ 計画性	5.22	1.86	5.08	2.11	4.54	2.30	4.82	1.51	4.71	1.89
⑩ 努力への因果帰属	4.33	1.23	4.15	2.07	3.92	1.75	3.47	1.66	5.14	1.07
⑪ 知的興味	5.00	2.65	4.69	2.14	4.39	2.10	4.88	1.76	6.00	1.63
⑫ 勝利志向性	5.22	2.28	4.85	2.45	3.85	1.73	4.53	1.74	3.57	2.15
⑬ コーチ受容	5.89	2.47	5.15	2.37	3.39	2.18	5.18	2.10	6.29	1.50
⑭ I A C	4.33	2.50	5.21	1.87	5.85	2.04	5.06	1.56	5.14	2.12
⑮ 失敗不安	4.44	2.24	4.97	2.40	4.69	2.56	5.94	2.02	6.00	1.53
⑯ 緊張性不安	3.89	2.21	5.72	1.82	5.46	1.90	5.94	2.22	5.57	1.90
⑰ 不節制	6.22	2.68	5.54	1.99	7.15	2.15	5.35	1.22	5.43	2.15

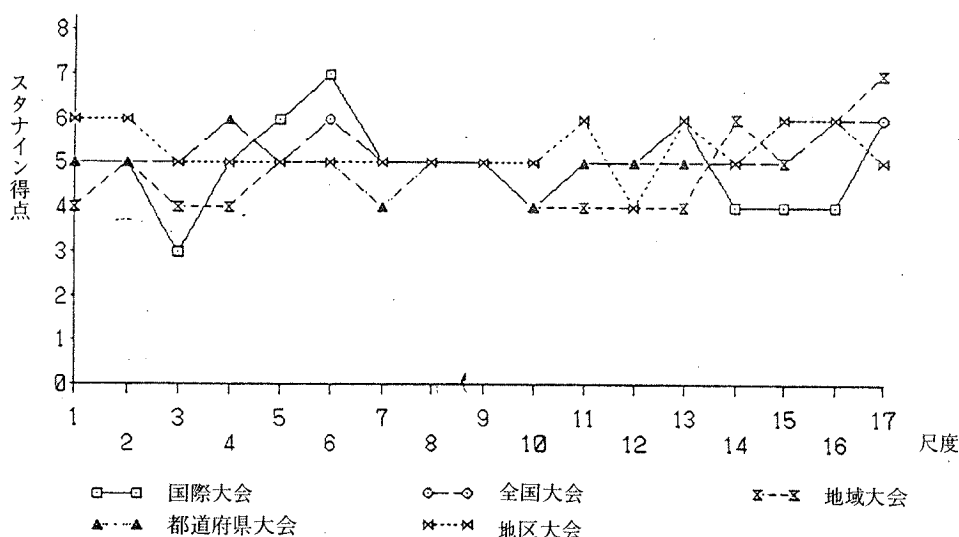


図4 TSMI調査の尺度別プロフィール (出場最高大会別)

要 約

本研究では、ヨット競技選手の特性を、今回は競技意欲に焦点をあて、TSMI調査を用いて行った。

対象者は、ヨット競技を行っている高校生、大学生、社会人の男子83名、女子26名の計109名であった。経験年数は1～13年にわたり、最頻値は1～2年であった。

結果：①ヨット競技選手の競技意欲は、全体として中間レベルである。女子は、男子に比べて「成功達成傾向 (競技達成動機)」が若干低く、「失敗回避傾向 (競技不安)」が若干高い。そのため「コーチ受容」が高くなっている。

②年代別の特性としては、各年代とも中間レベルであるが「社会人」になると「精神的強靱さ」「コーチ受容」の傾向が高まっている。これは、ヨット競技の特性の1つといえる。

③経験年数別の特性は、経験年数が長くなっても変化は殆どない。「失敗回避傾向 (競技不安)」が低くなってきており、試合に慣れ、不安が少なくなってきたといえる。

④全体として、不節制の傾向が多く見られ、レースや練習を中心とする生活習慣の確立が必要と考えられるので、詳しく調べる必要があろう。

今回、TSMI調査で競技意欲について調べたが「DIPCA・1 (Diagnostic Inventory of Psychological Competitive Ability for Athletes)」で、心理的競技能力についても併せて検討し、今後の練習やレースに役立てればと考えている。

参考文献

- 1) 現代体育・スポーツ大系第15巻, 講談社, 1984, P159
- 2) 世界ヨット百科, 同朋舎出版, 1993, P192
- 3) A・モンタギュー, F・メイントソン: 「非人間化」の時代, TBSブリタニカ, 1986, P305-311
- 4) 財日本ヨット協会医科学研究 (代表木村恒夫): 競技種目別競技力向上に関する研究—第13報—No27ヨット, TSMI検査からみたヨット競技選手の競技意欲, 1989年度日本体育協会スポーツ科学研究報告集 Vol 1: 365-372, 1989.
- 5) 米川直樹他: 競技種目別メンタルマネジメントに関する研究—第2報—ヨット, 平成3年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究報告, NoⅢチームスポーツのメンタルマネジメント: 39-47, 1991.
- 6) 森 司郎・岡田敬栄: 競技成績がTSMIに与える影響について—高校陸上短距離1600Mリレー選手を対象にして—, 鹿屋体育大学紀要, 4: 163-169, 1989.
- 7) 松元正竹・谷口幸一・北川淳一・古谷 学・安楽照夫: 体操競技選手における競技意欲と競技成績についての調査研究, 鹿屋体育大学紀要, 9: 91-106, 1993.
- 8) 谷口幸一, 森 司郎, 園田順一, 平野 稔, 上田雅夫

：大学競技選手のメンタルマネジメントに関する研究－競技形態・種目別のコンディショニング法の実態－，鹿屋体育大学紀要，3.：139-147, 1988.

9) 学生健康管理及び競技力向上のための調査研究委員会（委員長 長尾愛彦）：学生健康管理及び競技力向上研究報告書，鹿屋体育大学，1992.

10) 佃 昭二：佃式トレーニングシステム Vol. 4－トレーニングの方法－ JAPAN YACHTING ASSOCIATION BULLETIN 「YACHT」, No287.：7-9, 日本ヨット協会，1992.

11) 玉木伸和：ヨット競技470クラスの五輪対策，コーチング・クリニック，1992年4月号：19-23，ベースボールマガジン社，1992.

付録1. 全体の TSMI 検査プロフィール

男子

		段 階 点								
検 査 結 果	尺 度 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9 点
	1 目標への挑戦					●				5
	2 技術向上意欲					●				5
	3 困難の克服					●				5
	4 練習意欲						●			6
	5 情緒安定性					●				5
	6 精神的強靱さ						●			6
	7 闘 志					●				5
	8 競技価値観					●				5
	9 計 画 性					●				5
	10 努力への因果帰属				●					4
	11 知的興味					●				5
	12 勝利志向性					●				5
	13 コー チ 受 容					●				5
	14 I A C					●				5
	15 失敗不安					●				5
	16 緊張性不安					●				5
	17 不 節 制						●			6

段階点の< 4 - 6 >は，各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

付録2. 性別の TSMI 検査プロフィール

男子

		段 階 点								
検 査 結 果	尺 度 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9 点
	1 目標への挑戦					●				5
	2 技術向上意欲					●				5
	3 困難の克服					●				5
	4 練習意欲						●			6
	5 情緒安定性					●				5
	6 精神的強靱さ						●			6
	7 闘 志					●				5
	8 競技価値観					●				5
	9 計 画 性					●				5
	10 努力への因果帰属				●					4
	11 知的興味					●				5
	12 勝利志向性					●				5
	13 コー チ 受 容					●				5
	14 I A C					●				5
	15 失敗不安					●				5
	16 緊張性不安					●				5
	17 不 節 制						●			6

段階点の< 4 - 6 >は，各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

女子

		段 階 点								
検 査 結 果	尺 度 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9 点
	1 目標への挑戦					●				5
	2 技術向上意欲					●				5
	3 困難の克服				●					4
	4 練習意欲						●			6
	5 情緒安定性				●					4
	6 精神的強靱さ				●					4
	7 闘 志				●					4
	8 競技価値観					●				5
	9 計 画 性				●					4
	10 努力への因果帰属					●				5
	11 知的興味				●					4
	12 勝利志向性				●					4
	13 コー チ 受 容						●			6
	14 I A C				●					4
	15 失敗不安						●			6
	16 緊張性不安						●			6
	17 不 節 制					●				5

段階点の< 4 - 6 >は，各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

付録3．年代別の TSMI 検査プロフィール

高校生

		段 階 点									点
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
検 査 結 果	1 目標への挑戦					●					5
	2 技術向上意欲					●					5
	3 困難の克服					●					5
	4 練習意欲						●				6
	5 情緒安定性					●					5
	6 精神的強靱さ					●					5
	7 闘志					●					5
	8 競技価値観					●					5
	9 計画性					●					5
	10 努力への因果帰属				●						4
	11 知的興味				●						4
	12 勝利志向性				●						4
	13 コーチ受容					●					5
	14 I A C					●					5
	15 失敗不安					●					5
	16 緊張性不安						●				6
	17 不節制						●				6

段階点の＜4－6＞は，各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

社会人

		段 階 点									点
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
検 査 結 果	1 目標への挑戦				●						4
	2 技術向上意欲				●						4
	3 困難の克服			●							3
	4 練習意欲				●						4
	5 情緒安定性						●				6
	6 精神的強靱さ							●			7
	7 闘志					●					5
	8 競技価値観					●					5
	9 計画性					●					5
	10 努力への因果帰属					●					5
	11 知的興味						●				6
	12 勝利志向性						●				5
	13 コーチ受容							●			7
	14 I A C			●							3
	15 失敗不安				●						4
	16 緊張性不安			●							3
	17 不節制						●				7

段階点の＜4－6＞は，各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

大学生

		段 階 点									点
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
検 査 結 果	1 目標への挑戦					●					5
	2 技術向上意欲					●					5
	3 困難の克服					●					5
	4 練習意欲						●				6
	5 情緒安定性					●					5
	6 精神的強靱さ					●					5
	7 闘志					●					5
	8 競技価値観					●					5
	9 計画性					●					5
	10 努力への因果帰属				●						4
	11 知的興味				●						4
	12 勝利志向性				●						4
	13 コーチ受容					●					5
	14 I A C					●					5
	15 失敗不安					●					5
	16 緊張性不安						●				6
	17 不節制						●				6

段階点の＜4－6＞は，各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

付録4．経験年数別の TSMI 検査プロフィール

1－2

		段 階 点									点
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
検 査 結 果	1 目標への挑戦					●					5
	2 技術向上意欲					●					5
	3 困難の克服					●					5
	4 練習意欲					●					5
	5 情緒安定性					●					5
	6 精神的強靱さ					●					5
	7 闘志					●					5
	8 競技価値観					●					5
	9 計画性					●					5
	10 努力への因果帰属					●					5
	11 知的興味				●						4
	12 勝利志向性					●					5
	13 コーチ受容					●					5
	14 I A C					●					5
	15 失敗不安					●					5
	16 緊張性不安						●				6
	17 不節制						●				6

段階点の＜4－6＞は，各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

3-4年

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 結 果	1 目標への挑戦				●						5
	2 技術向上意欲				●						5
	3 困難の克服			●							4
	4 練習意欲				●						5
	5 情緒安定性				●						5
	6 精神的強靱さ				●						5
	7 闘 志				●						5
	8 競技価値観					●					6
	9 計 画 性				●						5
	10 努力への因果帰属				●						5
	11 知的興味				●						5
	12 勝利志向性			●							4
	13 コーチ受容			●							4
	14 I A C				●						5
	15 失敗不安			●							4
	16 緊張性不安				●						5
	17 不 節 制					●					6

段階点の<4-6>は、各尺度特性の中間(平均レベル)にあることを示している。

10年以上

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 結 果	1 目標への挑戦				●						4
	2 技術向上意欲				●						4
	3 困難の克服			●							3
	4 練習意欲				●						4
	5 情緒安定性						●				7
	6 精神的強靱さ				●						5
	7 闘 志					●					6
	8 競技価値観				●						5
	9 計 画 性				●						5
	10 努力への因果帰属				●						5
	11 知的興味				●						5
	12 勝利志向性			●							4
	13 コーチ受容					●					6
	14 I A C			●							3
	15 失敗不安			●							4
	16 緊張性不安			●							4
	17 不 節 制					●					6

段階点の<4-6>は、各尺度特性の中間(平均レベル)にあることを示している。

5-9年

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 結 果	1 目標への挑戦				●						5
	2 技術向上意欲					●					6
	3 困難の克服			●							4
	4 練習意欲						●				7
	5 情緒安定性						●				7
	6 精神的強靱さ				●						5
	7 闘 志					●					6
	8 競技価値観				●						5
	9 計 画 性						●				7
	10 努力への因果帰属			●							4
	11 知的興味				●						5
	12 勝利志向性				●						5
	13 コーチ受容					●					6
	14 I A C					●					6
	15 失敗不安					●					6
	16 緊張性不安						●				7
	17 不 節 制					●					6

段階点の<4-6>は、各尺度特性の中間(平均レベル)にあることを示している。

付録5. 出場最高大会別の TSMI 検査プロフィール
国際大会

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 結 果	1 目標への挑戦				●						5
	2 技術向上意欲				●						5
	3 困難の克服			●							3
	4 練習意欲				●						5
	5 情緒安定性					●					6
	6 精神的強靱さ						●				7
	7 闘 志				●						5
	8 競技価値観				●						5
	9 計 画 性				●						5
	10 努力への因果帰属			●							4
	11 知的興味				●						5
	12 勝利志向性				●						5
	13 コーチ受容					●					6
	14 I A C			●							4
	15 失敗不安			●							4
	16 緊張性不安			●							4
	17 不 節 制					●					6

段階点の<4-6>は、各尺度特性の中間(平均レベル)にあることを示している。

全国大会

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 P 結 果 N	1 目標への挑戦				●						5
	2 技術向上意欲				●						5
	3 困難の克服				●						5
	4 練習意欲					●					6
	5 情緒安定性				●						5
	6 精神的強靱さ					●					6
	7 闘 志				●						5
	8 競技価値観				●						5
	9 計 画 性				●						5
	10 努力への因果帰属				●						4
	11 知的興味				●						5
	12 勝利志向性				●						5
	13 コーチ受容				●						5
	14 I A C				●						5
	15 失敗不安				●						5
	16 緊張性不安					●					6
	17 不 節 制					●					6

段階点の＜4－6＞は、各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

都道府県大会

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 P 結 果 N	1 目標への挑戦				●						5
	2 技術向上意欲				●						5
	3 困難の克服				●						5
	4 練習意欲					●					6
	5 情緒安定性				●						5
	6 精神的強靱さ				●						5
	7 闘 志				●						4
	8 競技価値観				●						5
	9 計 画 性				●						5
	10 努力への因果帰属				●						4
	11 知的興味				●						5
	12 勝利志向性				●						5
	13 コーチ受容				●						5
	14 I A C				●						5
	15 失敗不安					●					6
	16 緊張性不安					●					6
	17 不 節 制					●					5

段階点の＜4－6＞は、各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

地域大会

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 P 結 果 N	1 目標への挑戦				●						4
	2 技術向上意欲				●						5
	3 困難の克服				●						4
	4 練習意欲				●						4
	5 情緒安定性				●						5
	6 精神的強靱さ				●						5
	7 闘 志				●						4
	8 競技価値観				●						5
	9 計 画 性				●						5
	10 努力への因果帰属				●						4
	11 知的興味				●						4
	12 勝利志向性				●						4
	13 コーチ受容				●						4
	14 I A C					●					6
	15 失敗不安				●						5
	16 緊張性不安					●					6
	17 不 節 制						●				7

段階点の＜4－6＞は、各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。

都道府県内地区大会

		段 階 点									
尺 度 名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	点
検 査 P 結 果 N	1 目標への挑戦					●					6
	2 技術向上意欲					●					6
	3 困難の克服				●						5
	4 練習意欲				●						5
	5 情緒安定性				●						5
	6 精神的強靱さ				●						5
	7 闘 志				●						5
	8 競技価値観				●						5
	9 計 画 性				●						5
	10 努力への因果帰属				●						5
	11 知的興味						●				6
	12 勝利志向性				●						4
	13 コーチ受容						●				6
	14 I A C					●					5
	15 失敗不安						●				6
	16 緊張性不安						●				6
	17 不 節 制					●					5

段階点の＜4－6＞は、各尺度特性の中間（平均レベル）にあることを示している。